

シアター万華鏡第91回公演

『あらしのよるに』

作 きむらゆういち

絵本 講談社/小説 小学館

脚本・演出 堀江辰男

【キャスト】

三浦祐一・まる
柳沢延行・柳 貴雄
杉山綾子・かさまみちよ
鈴木佑誠・山本菜緒
島三郎

【スタッフ】

演出 : 堀江 辰男
道具 : 稲葉 譲二
照明 : 竹内 一登
音効 : 久保田 卓秀
衣装 : 高井 聡恵
制作 : 加藤 由紀子・稲葉 優子
作曲 : 狩野 ふみ

心の鼓動を感じ、気づくということ

脚本・演出 堀江辰男

今日は、三島市民演劇祭にお越し頂きましてありがとうございます。この演劇祭も、皆様方に支えて頂き36回を数えることが出来ました。しかし実は、その前身となる三島ファミリー劇場が長くあったのです。これは、三島の演劇の礎を築かれた行方薫雄氏の努力によるものであり、子どもたちに演劇を楽しんでもらいたい、親しんでもらいたいと願い、入場料無料で開催していたんです。大勢の子どもたちが訪れてくれました。しかし、制作費、上演したい作品等の問題等を抱え、協議を重ねた結果、観客を子どもだけに限定せずに一般にも広げ、入場料も設定して、第一回の市民演劇祭として発足したのです。私は直に関わっていたので、この当初の願いは、いつも心のどこかに引っかかっていた。

今回の上演は、その引っかかりへの答えでもあります。

絵本「あらしのよるに」は、もう20年位前に出版され、一作のみで完結の予定だったのですが、人気はとどまることを知らず8作目の完結編まで続きました。優れた絵本、童話というものは、大人をも感動させ、新たな発見や問題意識をも掘り起こしますが、この作品も同様です。子どもと大人も一緒に観て、おしゃべりしていただければすごく嬉しいです。

さて、この作品をご覧になって、どこをどう感じるかは、まったくの自由です。皆さん一人ひとりの感動は、みんな正解です。劇団員Y君は、お腹が空いて友達のヤギを食べたくなった時、「なんでオイラ、オオカミに生まれてきちゃったんだよう！」と嘆くセリフがこの作品のねらいだと捉えました。私は慌てて、カットしてあったそのセリフを復活したんです。じゃあ、「演出は、何を考えているんだ？」となりますが、一つだけこっそり公開しますね。

「小屋の中で、稲妻に驚き、思わず二匹が身体を寄せ合ってしまう。」「濁流の中で岩から滑り落ちそうになった時、二匹は身体を支え合う。」さあ、この時、二匹は何を感じたのか。心臓の鼓動、息づかい、身体の温もりなど、生きとし生けるもの、生命のある者の共感であり、信頼と絆が結ばれていきます。それは、他からもたらされる情報・文化よりも確かなものではないか、コミュニケーションはどうあるべきかなどと模索しながら最後の稽古に臨んでいるところです。

劇団員に聞きました。『私の動物(ペット)との思い出』

三浦：うちの猫。今から14年前、某稲葉君と養老乃瀧で一杯やったあと、大場川の土手を歩いていると、生まれたばかりの子猫がついてきた。稲葉君は2、3度轢いていた。そのまま家にとりついた。我が家の新築の内装はボロボロになり、彼は今ボケが始まっている。

まる：長女が小学3年生の時に『メダカを学校に持ってく！』と言い出し、知り合いにもらい学校へ♪ 3月末『お持ち帰り』と想定外に3匹のメダカが我が家にやって来た(◎-◎;) それから12年近くになりますが、まだメダカ生活継続中…可愛いで～す♪

柳沢：何年か世話したマリモの水かえをしてたら、そのマリモが真っ二つに割れた。そもそもマリモって動物？

柳：高校の頃に家に来た猫、しつけを失敗して立派な噛み猫になりました。人間で80歳を過ぎてもまだまだ元気です。

加藤：金魚？多分お祭りで釣ったんだと思うけど、けっこう大きくなりました。継ぎ足し継ぎ足しで、長い間いました。

かさま：ペットではないですが…。大昔サファリパークの馬担当の飼育係でした。コタローというポニーを調教して、馬車をひいた夏、忘れられないです。ほかにもランやET、スモーキーetc…もう〇〇年たっていますが馬たちの顔や名前、思い出しては懐かしくなっています。

稲葉：小学校の頃、飼育委員をやっていて、毎日欠かさずインコや十姉妹達にえさをやっていました。職員室ではその姿を見て「小鳥とかたる少年」という二つ名を付けていたそうです。

竹内：夜店で買ったヒヨコは飼い主に似て音痴で、大人になったらボヘボッボ～と鳴いていた…。

【〇〇年たって万華鏡の舞台に戻って来ました！】

お久しぶりです!? 帰ってこられる場所があるなんてステキ*(^o^)/*
〇〇年前の私の役は、キツネでした。そして今回ヤギ!
元気にとびまわりますv(^~) かさまみちよ



【次回公演のおしらせ】

1980年創立から今年で38年。
皆様に支えられてここまで続けてくることが
出来ました。ありがとうございました。
これからも一生懸命芝居を創っていきますので、
今後とも、どうぞよろしくお願い致します。
そして、次回は夏公演を予定しています。
内容は、乞うご期待!!



その時、あなたも一緒に舞台を創って
みませんか? 団員も募集しています♪

<問い合わせ>事務局 稲葉

TEL 090-3449-5328

(PM3:00以降のご連絡をお願いします。SMSメールなら24時間OK)

FAX 055-948-9762

mail mangekyo@sun.tnc.ne.jp

http://www2.tokai.or.jp/geki/mangekyo/

twitter: シアター万華鏡 (@theatermangekyo)

☆公演の案内をDMでお知らせしますので、是非アンケートへのご記入をお願いします☆

Special thanks

青果・食料品 小売

みうら青果 激安



三島市日の出町2-4

TEL 055-971-0329